

0 情報の収集

世の中の潮流

CNは流行ではなく世界的な大きな流れであることを理解している。

YES
→

行政の政策

経営者はCNに取り組まないデメリットや制度変更がいつから開始されるかを理解している。

実務者はCNに取り組むインセンティブとなる補助制度を理解している。

YES
→

取引先の方針

経営方針におけるCN取組の時間軸を把握している。
実務者は主要取引先が求めている具体的な要請を正確に把握している。



世の中の潮流

経営者

自社が属する業界での排出量削減の時間軸や削減目標等を収集し、CNは単なる流行ではなく、継続していく世の中の大きなトレンドであることを認識。



行政の政策

経営者

規制や制度の変更がいつから開始されるか等、CNに取り組むことのメリットと取り組まないデメリットを収集し社内に共有する。

実務者

先行的にCNに取り組むことへのインセンティブとなる補助制度を収集。



取引先の方針

経営者

取引先の取引条件や経営方針にCN取組の時間軸が設定されていることをインプットし、自社が対応すべき目標と時間軸を検討。

実務者

取引先が現に求めている具体的な要請を正確に収集し、その要請に対応する方法を検討する。

↓ NO

行政のCN啓発セミナー等へ参加し理解をする。

実践例

- 中小企業大学校
- 中小機構オンラインセミナー
- あいち産業振興機構 経営革新セミナー
- 豊田市脱炭素スクール

↓ NO

行政の政策動向に関する説明会等に参加し理解をする。

過去に開催された例

- 省エネ法改正説明会
- GX基本方針説明会

↓ NO

取引先の説明会に参加する等情報収集する。

実践例

- 調達方針説明会
- 協力会のCNセミナー

0 情報の収集 事例

行政の開催するセミナーや取引先から情報収集することで知見を深めた事例

協発工業株式会社



愛知県岡崎市

自動車部品のプレス加工、溶接加工及び組み付け加工ほか

- ▶ 社長がSDGsバッチに関心を持ち、どうしたら着けることができるかを調べることからスタート。行政等の行う「**SDGsセミナー**」等へ参加すると気候変動対応を大企業がこぞで行ってきていることを知り、自社の業界でも必ずこの波がやってくると確信。取組を開始。
- ▶ 「**環境省のSBTモデル事業**」に参加。SBT認証を取得し目標を設定。具体的に目標を達成するために排出量削減のロードマップを作成するに至った。
- ▶ いち早くCN取組を始めたことで自身が「**CNセミナー**」の講師として呼ばれることになった。「**CNセミナー**」で他の講師の取組を聞くことで更に削減手法等について知見が深まっている。

株式会社市川鉄工所



愛知県豊田市

切削加工による自動車・建機等の工業製品用部品製造

- ▶ 仕事を通じて家族に誇れるような、夕食時の話題となるような取組をするためにCN対応をスタート。
- ▶ 市主催の「**脱炭素スクール**」に参加。CNの世の中の動向や具体的な削減計画の立案について学ぶ。
- ▶ 「**脱炭素スクール**」に参加したことでエネルギーコンサル企業とも知り合うことができ、排出量を測る協力を得ることができた。
- ▶ 取引先の「**調達方針説明会**」で年々CNの扱いが大きくなっていくことでCNの波が今後も続くことを確信。